

春祭りを迎えて

琴似神社社報

# 北のみやけ

札幌市西区琴似1条7丁目  
琴似神社社務所



伊勢神宮 第六十二回式年遷宮

**琴似神社春季大祭**  
平成二十四年五月二十七日(日)

春季大祭 午前十時 齋行  
報徳神社例祭 午前十時半 齋行  
奉納演芸 昼の部 午後一時半より  
 ・地元・札幌山の手高校吹奏楽部演奏  
 (雨天は中止)  
 夜の部 午後六時より  
 ・地元FM三角山放送局によるバンド演奏・演歌ショーなど

屯田踊り 午後三時より  
若柳流家元若柳旭甫先生ご指導

子供相撲大会 午後三時半より

○境内に生花などの奉納催物  
○琴似本通り沿いに露店出店

琴似神社でも奉賛金を受け付けています。詳しくは社務所までお問い合わせ下さい。

## 『古事記成立千三百年』

平成二十四年は日本最古の古典であり史書でもある古事記が編纂されてから千三百年に当たります。

天武天皇の命により、稗田阿礼(ひえだのあれ)が記憶した歴史や神話を、太安万侶が(おおのやすまろ)記録し七十二年に成立しました。

神々の誕生や、その住まいである高天原、人間の暮らす国土の形成に始まり、天照皇大神から「地上を治めるように」との命を受けた日嗣の御子・番能邇邇芸命(ホノニギノミコト)から三代目、鵜葺草葺不合命(ウガヤフキアエズノミコト)までが一の巻。二の巻、三の巻は鵜葺草葺不合命の御子・神倭伊波礼毘古命(カムヤマトイワレビコノミコト)即ち神武天皇の即位から推古天皇までの系譜、事件等が記されています。「因幡の白兔」やヤマタノオロチ退治、天の岩戸の神話など、一度は耳にしたことのあるような説話は主に一の巻に著されたものです。

(参考文献「神話のおへそ」扶桑社)

## 『琴似神社年間御祭事』

一月 一日 歳旦祭  
三日 元始祭  
七日 どんと祭  
(一年間お祭りした御札や御守りを焼納するお祭りです。)

二月 三日 節分祭  
十七日 祈年祭  
祖霊祭

春分の日

五月 二十七日 春季大祭  
(琴似屯田兵入植完了の日を記念して定められました)

六月 十八日 功労者顕彰祭  
三十日 夏越の大祓

八月 初旬 祖霊祭

九月 三日 安全神社例祭  
宵宮祭  
四日 例祭  
(明治天皇の北海道御巡幸と琴似屯田御巡視を記念して定められました)

秋分の日  
二十七日 祖霊祭  
報徳神社秋祭  
天満宮祭

十月 二十八日 大神宮祭  
十一月 二十三日 新嘗祭  
十二月 二十三日 天長祭  
三十一日 年越の大祓  
除夜祭

## 琴似神社春季大祭のお知らせ

新緑の候、琴似神社氏子崇敬者の皆様には、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。  
当神社祭典につきましては、毎年皆様より多大なご奉賛、ご協力を頂き厚く御礼申し上げます。  
本年度の祭典は中央祭典区(琴似・二十四軒地区)の担当により、ご奉仕・齋行致します。琴似神社は今年で御鎮座138年目に当たり、私はその歴史の中で初めての戦後生まれの祭典委員長となります。先輩方から教わったことを糧に御神威の発揚に努め、たくさんの皆様楽しんでいただけるお祭りを作り上げていきたいと思っておりますので、氏子崇敬者皆様のお力添えを頂きたく、何卒よろしくお願い申し上げます。  
尚、北海道神宮例祭【札幌まつり】(6月15日)の琴似地区の募財も併せて御賛助いただいておりますのでよろしくお願い申し上げます。